

みらいん

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。

わかばやし

第 9 号



◀プレハブ住居が並ぶ通路の両脇に、枕木で囲んだ黒々とした土と、盛んに空を目指す緑の葉が茂っています。「今度は、有機栽培に挑戦したいですね」と石塚さん

今月の
ひと

愛情込めて、おいしくな〜れ!

「はたけくらぶ」の部長さん

ワイワイと、にぎやかに作業するのが秘訣です!

「枝豆は失敗しちゃったけど、レタスやトマトは成功です。キュウリは、虫がついちゃってちょっと心配ですね」大きな目をくるくるさせながら、いつも笑顔の石塚晶子さんは、卸町5丁目公園町内会の「はたけくらぶ」で部長を務めています。支援で届いた土や苗、種を有志で栽培したのが始まりで、「せっかくだからサークルを作りましょう」との声が高まり、20才代から80才代まで、22名の参加を得て発足しました。農家の方や家庭菜園のベテランもいて、「無農薬で栽培する」「楽しく作っておいしく食べる」を目標に、日々の畑作業をしています。「私のような素人からベテランまでいるんだから、意見が食い違うのは当たり前ですよ。喧嘩しながらも、最後は話し合いで決着する、そんな雰囲気は自然に出来ていましたね」「歩く事がやっとなのお年寄りでも、畑作業をしている間はキリッとしているんですよ。ひとり住まいの方の安否確認にもなるし、何よりも生き生きしている姿がうれしいじゃないですか」部長になってからは、住人皆の健康にも気を配りたい、と考えるようになった石塚さんです。「皆、家族なんだから。縁があって、この仮設住宅に集まった人たちは、いつの日か離れてしまう運命だけど、ここに暮らしている間は家族同然ですよ」石塚さんと「はたけくらぶ」は、野菜だけでなく、人のつながりも育てています。



2012

8月

メンバー&参加者の声



花洲 芳子さん(南小泉仮設在住)

最初は誰が住んでいるのかもわからなかったけど、サロンがきっかけで皆さんと仲良くなれました。皆さんに声をかけてもらえるのがとてもうれしい。



佐藤 みや子さん(文化町在住)

皆で顔を合わせて、くだらない話をして盛り上がっています(笑)。今の住まいでは隣近所と顔を合わせることも無いので、ここで皆と話せる時間がうれしい。移動サロンで定義山にいったときは小学校の遠足のようにとても楽しかったです。



中島 弘子さん(保春院前丁在住)

皆さんに仲良くしていただいて、今ではここは自分の第2の居場所だと思っています。みなし仮設の人たちの情報交換の場にもなっていますね。近所で買い物をしている、南小泉仮設住宅の方と会うと「またおいでね」って声をかけてくれるんです。それがとてもうれしくて、今度は私がまだここに来てない人に「おいで」って声かけたいです。

なでしこ会 副代表
花洲 みどりさん(南小泉仮設在住)

不安なことはあるけれど、参加されている方の笑顔を見ると悲しい顔はしてられません。今はもっとたくさんの方に来ていただくために、どんなことをしようかと代表の庄子さんと思索しています。まだ参加されていない方にもどんどん声をかけていきたいですね。皆さんぜひいらしてください。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

なでしこ会はどんなことをしているの？

移動サロンなでしこ

サロンなでしこ

イベントの食事支度



今後のスケジュール

サロンなでしこ

(JR南小泉アパート仮設住宅集会所)

8月のサロンはお休みです。

次回は9月中旬以降を予定しています。

ほかに秋の移動サロン、手芸の会を企画中。イベント情報はブログで随時更新しています。

JR南小泉仮設住宅 で検索を。



JR南小泉アパート仮設住宅 自治会長 大久保 勝彦さん

はじめてここでイベントをしたときから、住人以外の人たちに来てもらうよう、積極的にそれぞれの知人や親戚などに声をかけてもらいました。(みなし仮設は)やはり、支援の手が圧倒的に少ないのでね。いろんな人に来てもらって楽しんでもらいたい。こんなときに人に伝える口コミの力や、一緒に料理を作る団結力といった、なでしこ会の女性たちのパワーが必要になるんですね。

JR南小泉アパート仮設住宅 自治会女性部 なでしこ会

なでしこたちの招待状

たくさんの笑顔が集まる「JR南小泉アパート仮設住宅(以下、南小泉仮設住宅)」の集会所。その顔ぶれはお住まいの方、みなし仮設の方、そのお友達と、さまざまです。ここでは、女性たちを中心に出会いのきっかけづくりが行われていました。

アパートの方も
借り上げ民間賃貸住宅の方も
皆で一緒に楽しみましょう!



初のサロン開催まで

南小泉仮設住宅は被災されたおおよそ八十世帯がお住まいの集合住宅です。自治会は入居からまだ日も浅い昨年八月には立ち上がり、その女性部として「なでしこ会」が発足したのは九月。早い段階で仮設住宅でのコミュニティづくりを始めました。ただ、みなし仮設(公務員住宅、社宅など)や、県が借り上げた民間賃貸住宅)とされていたことから、プレハブの仮設住宅に比べて支援の手は多くなく、イベントなどの催しは入居後しばらく行われることがありませんでした。

そんななか、「サロンをやってみては」と自治会から提案を受けた「なでしこ会」が、十一月に「サロンなでしこ」(左ページ参照)を初めて開催しました。メンバーたちの口コミネットワークで、知り合いに声をかけ、当日参加したのはお住まいの方のほか、そのお友達や親戚、近隣のみなし仮設にお住まいの方などさまざまな人たち。その後も月に一度定期開催されることになりました。

人と人がつながる場所づくりを

南小泉仮設住宅ではイベントなどの集まりがあれば、なでしこ会はも

ちろん、自治会からも住人たちに「知り合いに声をかけて誘って」と積極的に呼びかけています。

入居からしばらくの間、集会所が無くもどかしい思いをしていた南小泉仮設住宅だからこそ、交流する場所があること、の大切さを身にしみて感じていたのです。

みなし仮設にお住まいの方には、日常的に集まって交流をする場所がありません。「ならば、この集会所にきてもらおう」という思いを多くの住人が持っていました。

そのきっかけづくりのひとつが「サロンなでしこ」になっていきます。「サロンで懐かしい顔と再会したり、新しく誰かと出会ったりして、ここから絆が生まれていくって欲しい」とは、なでしこ会の代表、庄子千枝子さん。「なでしこ会では、サロン以外にもイベントで出す料理を皆で作ったり、遠足気分移動サロンを開いたり、皆で集まれる楽しい催しを行っていきます。とにかくいろんな人と会ってお話をして楽しい時間を過ごしましょう。どこに住んでいるからとかは関係なく、一度サロンに参加してみてください」

昨年輝かしい活躍をした、女子サッカー日本代表の頑張る姿にあやかり名づけられた「なでしこ会」。彼女たちは、今日も若林の地で笑顔の輪を広げています。

2日・3日(土・日)

田植え交流会 (山形県新庄市)



新庄市とネットワーク農縁の招きで、若林区と東松島市の仮設住宅にお住まいの皆さんが、田植えをしました。田んぼでは、ぬかるみに足を取られて動けなくなってしまふ人も現れ、周囲の笑いを誘っていました。

10日(日)

お世話になった校舎を清掃 (荒浜小学校)



津波をかぶった校舎をキレイにしようと、荒浜住民有志の「荒浜再生を願う会」が清掃活動を企画。悪天候にも関わらず、住民やボランティアなどおよそ200人が集まり、ガレキや泥に汚れた備品を運び出しました。会では今後も荒浜地区の清掃を続けるとのことでした。

13日(水)

仙台弁語り (荒井7号公園仮設住宅)



仙台弁使いの達人・渡辺裕子さんが集会所を訪問。お住まいの方々が持ち寄った手づくりのお料理を囲み、アットホームな雰囲気なか、仙台弁の詩や川柳を読み上げました。

14日(木)

震災復興新念バラまつり (仙台市農業園芸センター)



200種1,200株のバラが見事に咲き競うバラまつり。色とりどりの美しい見た目、香りに癒されたのはもちろん、津波をかぶりながらもたくましく花を咲かせたその生命力に力をもらいました。

16日(土)

梅雨空なんか吹き飛ばせ! 荒浜キッズの運動会(荒浜小学校[東宮城野小学校内])



荒浜小学校の運動会へ。校庭には万国旗がはためき、運動会の雰囲気は大いに盛り上がります。児童の徒競走やリレーには大きな声援が飛び、保護者と地域住民も参加した綱引きや玉入れは、白熱の接戦になりました。あいにくの天気にも関わらず真剣に取り組む児童の姿は、集まった家族や地域の皆さんに感動を与えていました。

16日(土)

猿がやってきた! (卸町5丁目公園仮設住宅)



小雨のぱらつくなか始まったのは、山口県岩国市からやってきた猿回し一座の公演。雨が嫌いだというお猿さんですが、ちゃんと芸を見せてくれるかと見守る皆さんの前で大技をいくつも成功させました!

25日(月)

屋外クッキングー! (JR南小泉アパート仮設住宅)



味の素の移動式調理台「どこでもキッチン」がお目見え。百戦錬磨の主婦の皆さんも屋外調理に興味津々です。少し肌寒い空模様でしたが、野菜たっぷりのヘルシーな冷やし中華を調理し、おいしくいただきました。

29日(金)

日辺寄席の開演ですよ (日辺グラウンド仮設住宅)



満勝寺(青葉区柏木)の主催で「若林復興演芸会」が開催されました。東京の寄席に出演しているお2人による、落語、大神楽、獅子舞に、梅雨の湿った空気を吹き飛ばす大笑いの1時間でした。

30日(土)

みんなできれいになりました (東六郷小学校)



朝9時過ぎからぞくぞくと集まってきたのは、東六郷小学校のPTA、地域住民、教職員の方々約100名。参加者は、黙とうをささげた後、災害の爪あとが残る校舎に入り津波被害を受けた学校の清掃と備品の片付け作業に精を出しました。

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建...沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体が話し合われている内容についてお知らせします。

荒浜再生を願う会

荒浜に戻って生活再建を目指す住民有志が中心となって活動しています。



▶参加者が作成した図面や地図を提示して、荒浜の将来像について活発な意見交換がありました

7月9日(月)定例会議

内容 ●荒浜の将来像の各自プラン発表

当日の様子 参加者が各自で考えた荒浜の将来像を図面や絵にして発表しました。従前地で再建を考える場合には高床式の住宅や盛土・擁壁の工夫などが見られ、集約型住居の場合は盛土造成地区と県道との関係を考えて、公共性の高い施設を設置するなど、地域住民はもとより海岸公園利用者の安全も考慮したプランが提示されました。

問い合わせ先:代表 貴田喜一 090-8254-4270

定例会議:毎週月曜日19:00~荒井小学校用地仮設集会所

荒浜移転まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。



▶新しい事務所で、話し合いにも熱が入る参加者

7月6日(金)定例会議 サンピア会議室

内容 ●新事務所用の備品等の説明
●7月14日に開催する意見交換会の役割分担を協議

当日の様子 新しい拠点としてサンピア会議室を使用する事になりました。コピー機やパソコンなども準備して、会員への情報提供に活用する事を報告しました。14日の意見交換会の議事内容や役割分担を話し合い、また、仙台市への要望事項として、津波流失被災者への追加支援や復興公営住宅の低家賃及び免除期間の設定、荒井西・南地区への公営住宅設置などを協議しました。

代表 末永薫(問い合わせがある場合は直接定例会議においてください)

定例会議:毎週金曜日19:00~サンピア2F 会議室4

読者からひとこと

●3月に集会所の脇にあった自動販売機が撤去されてしまったんですが、先日、また新しく設置されました。待ち望んでいたの、とてもうれしいです。集会所の脇にはポストもあるし、生活するのにとても便利で、すごくありがたいですね。

太白区/村井さん

●再建中の自宅が12月に完成予定です。震災前は息子夫婦と暮らしていましたが、これからは娘夫婦と一緒に、言いたいことを言い合えて楽な反面、衝突しないか心配です。食事の好みや寝起きの時間など、気になることもあるけど、うまくやっていきたいです。

若林区/N・Kさん

●町蒲生出身です。蒲生2丁目から福田町のアパートへ移りました。その後、「中野小が中野栄小学校に間借りして開校している」と聞いて中野小へ子どもを通学させています。先日の授業参観では、人数は少ないけれど楽しそうにやっていたので安心。昨年に比べて今年は運動会も盛り上がり楽しかったです。このまま中野小生として進んでくれればありがたいですね。

宮城野区/篠澤幸代さん

明日の二本塚を考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。



▶地域の拡大した地図を前に、熱心に話し合う参加者

6月30日(土) 第4回六郷東部地区住まいまちづくり学習会

内容 ●住民提案「六郷東部しなやか復興ビジョン」案の検討
●圃場整備に関する農政局訪問の報告

当日の様子 住民提案の中から、●農業のこれから●区内移転について●生活再建に向けて困難に感じる事、についてグループで話し合いました。兼業農家の方からは、集団営農をしないと各種助成が受けられない仕組みが、小規模農家にとって不安材料になっている事。区内移転を希望する世帯は、現在11軒である事が報告されました。生活再建の問題では、小規模農家の営農継続が困難になった状況について話し合いました。

問い合わせ先:代表 小野吉信 090-3122-4843

会議、学習会は自由参加、随時開催

被災地レポート

取材地 深沼自動車整備工場 (荒浜北沼地区)

お客や従業員に支えられ
震災後一カ月で営業再開

津波でわずかに残った防風林の松林が、ポツリポツリ、数えるほどの本数になってしまいました。会社の事務所の窓からでもはっきりと見えるほどに海が近く感じます。

壊滅的な光景が今なお目の前広がる荒浜地区で、仙台市中心部から深沼海水浴場へと続く幹線道路沿いにある『深沼自動車整備工場』は震災後一カ月ほどで営業を再開しました。

渡辺アキコさんが役員を務める同社は、十数年前に亡くなった夫が四十年前に創業し、現在は長男の正さんが社長を務め、アキコさんは事務方の仕事をサポートしています。

夫との二人三脚が、その後、そして震災後、長男の正さんとの二人三脚に変わり、それをスタッフ、地域のお客さんたちが支えてくれてます。元々沿岸地域の顧客が多かったため震災被害に遭った方も多く、業務は震災前より減っているそうです。しかし、完全復旧を目指して少

しずつ前進している様子です。

会社は高さ二層の津波に襲われ、深刻な被害を受けました。お客さんたちの車は流され、工場内の精密機械はほとんど使い物にならなくなり、渡辺さんは「一面のガレキの山を見て、渡辺さんは「一時は再開をあきらめました」と振り返ります。それでも前に進めたのは、これまで共に工場を支えてきてくれた従業員たちの声だったといいます。

「スタッフが『よそには行きたくない。ここで働きたい』と再開を希望してくれたんです。その言葉で、やり直してみようと決めたんです」従業員をはじめ、親しくしてきたお客さんや親戚の人々が、「自分の



荒浜地区で唯一再開した自動車工場にて。仕事場での渡辺アキコさん

ことも投げ打ってガレキ撤去に協力してくれた」そうです。「お客さんも『自分の会社が休みだから』って、毎日十人くらい来て手伝ってくれています」

お世話になった地域に
仕事で恩に報いると決意

四十年前、当時市内の大手ディーラーに勤務していた夫から、会社をやめて独立することを告げられた時、渡辺さんは驚きながらも、夫の挑戦を支える覚悟を決めたそうです。夫と妻の二人、試行錯誤を続けながら会社経営に当たりました。確かな仕事で地道に着実に、地元のお客さんたちから信頼を勝ち取っていき、地域の中にしっかりと根を張っていききました。

「来てくださったお客さんたちに、持てる技術で最大限の対応をさせていただいています。そうやって信頼関係を築いてきました。お客さんが別のお客さんを紹介してくれるという形で地道にやってきたんです。今までお客さんたちに育ててもらいま

お客さんや親戚の力も借りて事業を再開した現在の深沼自動車整備工場



震災直後の様子。2011年3月18日撮影

した。きちんとした仕事でその恩に報いるのがこれからの務めだと思っています。この（津波を受けた）場所でも再開したことで、同じ境遇の人たちを少しでも勇気付けられればいいと思います」

渡辺さんは最近、かつて隣近所に暮らし、現在は仮設住宅に住む人たちから、「また（地元）戻りたい」と言われることがよくあるといいます。

「なして、こんなとこさまた来たいの？」

渡辺さんが不思議に思っている。尋ねると、こう言われるそうです。「あんたたちがいるからさ」

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

町田宗鳳先生の「風の集い」

広島大学大学院教授の町田宗鳳先生による、日本の禅を現代人向けにアレンジした“SOHO禅”の体験座談会。「ありがとう」とゆっくり発声しネガティブな気持ちにも効果がある画期的な瞑想法です。

対象 どなたでも参加できます。申込不要
日時 8月26日(日)14:00～17:00
会場 仙台市福祉プラザ11階(青葉区五橋2-12-2)
参加費 被災された方は無料、一般参加2000円
問 090-3420-8622 風の集い事務局(河原)

大崎八幡宮雅楽演奏会「雅楽の夕に、」

震災復興をテーマとした、参加型の雅楽演奏会。雅楽のプロによる演奏や雅楽の唱歌と一緒に歌います。

対象 どなたでも参加できます。参加無料。
日時 8月13日(月)16:00～18:00
会場 大崎八幡宮境内(青葉区八幡4-6-1)
内容 雅楽の演奏、災害復興についてのトークなど
問 022-234-3606 大崎八幡宮社務所

荒浜地域お盆供養会のお知らせ

震災被害者に向けた盆供養を下記の日程で行います。

対象 荒浜地区にお住まいの方
〈盆の入り・高灯ろうの設置〉 日時 8月13日(月)18:00～
内容 浄土寺住職の供養と吉水講のご詠歌
〈盆踊り〉 日時 8月15日(水)18:00～
会場 どちらも荒井小学校用地仮設住宅広場 ※小雨決行
〈送り盆・灯ろう流し〉
日時 8月18日(土)15:00～ 会場 荒浜貞山堀
主催 荒浜新町、荒浜北、荒浜東、荒浜西、荒浜南の5町内会
※灯ろうは各自持参。当日参加できない方は、17日まで荒井小学校用地仮設集会所まで届けてください
※駐車場に限りがあります。乗り合いにご協力ください

健康相談などのお知らせ

電話：022-282-1111(若林区家庭健康課・障害高齢課)

相談名	開催日	時間	会場	内容	担当	問合せ先
母と子の健康相談	8月24日(金) 8月14日(火) 9月7日(金)	13:30～14:30 9:30～10:30 9:30～10:30	若林区役所3階 七郷保健センター 六郷保健センター	育児の心配や母と子の健康についての相談	保健師・栄養士・歯科衛生士	家庭健康課 内線6772
子どものこころの相談室	8月23日(木) 9月13日(木)	午後・予約制	若林区役所3階	震災後の子どものこころの健康に関する相談(要予約)	児童精神科医	
健康づくり講話 健康づくり相談	8月30日(木)	13:30～14:30 14:30～15:30	若林区役所3階 健康教育室	「続く「せき」が心配な方のために」 健康相談	はやし内科クリニック 医師 保健師、栄養士、歯科衛生士	家庭健康課 内線6785
こころの健康相談	8月16日(木) 8月28日(火) 9月6日(木)	13:30～16:00	若林区役所3階	こころの健康に関する相談(要予約)	精神科医師、精神保健福祉相談員、保健師など	障害高齢課 内線6752
震災こころの相談	随時 (土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口 など	震災によるストレスやこころの相談	保健師など	
高齢者総合相談	随時 (土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口 など	高齢者の健康や介護・福祉の相談	保健師など	
認知症高齢者の 家族交流会	9月7日(金)	13:30～15:00	若林区役所3階 健康教育室	認知症の方を介護している家族の交流会	保健師など	障害高齢課 内線6307
認知症の介護講座 と相談会	8月25日(土)	講座：13:30～14:30 相談会：14:30～16:00	若林区中央市民 センター 別棟 第3会議室	講座：「本人が安心できる接し方について」 相談会：相談	講座：「認知症の人と家族の会」 宮城県支部代表 関東澄子氏	

聴覚障がい者向けの代理電話支援

耳に障がいがある方と健聴者の電話を通訳する代理電話支援を行っています(要登録、利用無料)。健聴者が話す内容をオペレーターが携帯メールやFAX、テレビ電話などを用いて手話・文字で通訳します。他にテレビ電話での遠隔通訳、臨時災害FM情報の文字化も行っています。

対象 被災3県(宮城・福島・岩手)にお住まいの聴覚障がいがある方
申込方法 希望者のお名前・住所・FAX・音声電話(利用可能な方)・メールアドレス・生年月日・性別を明記し、別途、身体障がい者手帳のコピーを添えて、FAX、Eメール、Webで登録ください
問・申 FAX: 0120-522-899 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター
Eメール: nf-support@plusvoice.jp
Web: http://plusvoice.jp/nf-support/

多重債務でお悩みの方はいませんか?

東北財務局では専門相談員を配置し、自らの収入で返済できないほどの借金を抱え悩む方々の相談に応じています。必要に応じて弁護士・司法書士にも引継ぎます。

対象 多重債務でお悩みの方(自営業者も含む)
時 月～金曜日9:00～17:45(祝日除く)
問 022-266-5703(直通)、022-263-1111(内線3080)
東北財務局 金融監督第三課(青葉区本町3-3-1)
[相談無料・秘密厳守]

巡回相談

地域支えあいセンターによる巡回相談です。生活上の困りごとなどの相談に応じています。

対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方
巡回相談(8月10日～9月10日) 9:30～15:00
▼七郷市民センター 8月10日、24日、31日 ▼若林市民センター 8月28日 ▼沖野市民センター 8月25日 ▼六郷市民センター 8月22日、29日 ▼荒町市民センター 8月22日
※常設の「支えあいセンターわかばやし」もご利用ください
住所 若林区中央市民センター別棟2階(保春院前丁3-4)
022-781-0559(開所時間/8:30～17:00、相談受付/9:30～15:00、休/日・月曜日、祝日の翌日、年末年始)
問 022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

けんこうコラム

からだ編 歯根膜。それは「口福」を伝える食感センサー

歯根膜とは？ これは歯から伝わる刺激を脳へ伝える食感センサーです。歯根膜は骨の中で歯を支えているトランポリンのようなハンモック状の膜で、神経につながっています。モノを噛むとこの膜が歯に押されて脳に刺激が伝わり、血液の流れが増します。だから運転中眠くなったらガムを噛むと目が覚めるのです。

歯根膜からの刺激は人の生活にも影響を与えます。お年寄りの生活状態を歯の本数で調べたら、しっかり噛んでいる人、自分の歯でモノを噛める人は、自立した生活を送っている人が多いことがわかりました。その一方、歯を失い入れ歯も入れていないお年寄りの方は寝たきりになっている方が多くなっていました。歯根膜すなわち食感センサーを刺激することは脳や体、心を元気にします。「バリッ」「サクサク」「シャリシャリ」と食感のバリエーションを食事に取り入れて「口福」を感じてください。そういった意味では、いろいろな素材を多様な調理法で楽しむことができる和食はおすすめです。お口と歯から始まる健康生活はじめてみませんか。

旭ヶ丘ジュン歯科 歯学博士 柏崎 潤

柏崎 潤 (かしわざき じゅん)

日本睡眠学会認定歯科医、クリニック内で『ジュン先生の歯楽教室』を開催するなど、歯と健康に関するトータルアドバイザーでもある。ホームページ <http://www.junshika.jp/>

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1	2		3		4	
			B			
5			6	7	A	
8		9		10		11
	12		13		D	
14	E				15	
		16		17		
18				19		
	C					

タテのカギ

- ① 仙台七夕といえばこの曲、鳥倉千代子の『七夕○○○』
- ② 八木山動物公園でこの夏、人気者の予感。6月に誕生した、○○○○のヒナ
- ③ 塩辛にしたり、ソーメンのように食べたり
- ④ 天気予報で発表される○○○は様々。洗濯や紫外線、不快などが
- ⑦ もち米を蒸した米飯
- ⑨ 7月の第3月曜日は、○○○の日
- ⑩ 仙台市に発祥の店がある夏の風物詩、○○○中華
- ⑬ 勾当台公園に銅像もある、仙台市出身の大横綱・谷風。年2場所の時代に横綱○○○は10場所を数えました
- ⑭ 「たまや〜」「かぎや〜」。仙台市をはじめ、8月は各地で○○○大会が夏の夜を彩ります
- ⑮ 農地再生の「菜の花プロジェクト」によって、塩害に強い菜の花が栽培され、○○○油が作られます
- ⑯ 疲労をかえりみずに没頭するのは、○○を詰める
- ⑰ 七夕の彦星の別名は、○○飼いな

ヨコのカギ

- ① お出かけの日に雨が降ったりすると、「日ごろの○○○○が悪いから…」なんてセリフが
- ④ 甘辛く味付けた仙台味噌をこれの葉に巻き、焼いても揚げても美味
- ⑤ ロンドン五輪、3位の選手には○○メダル
- ⑥ 混沌、無秩序の意味で、宇宙誕生以前を指したり
- ⑧ 農業をやめて他の仕事に就くこと
- ⑩ 私費に対して
- ⑫ 地下鉄南北線は、泉中央駅から○○○○駅を結びます
- ⑭ アナログ時計の文字盤で追いかけて
- ⑮ 蔵王町や利府町で収穫が盛んな果物。幸水や長十郎などが
- ⑯ 仙台七夕の時期によく流れるメロディ、『青葉城○○○○』
- ⑰ 市街地の美しい眺めを維持するよう定める、○○○地区
- ⑱ 仙台市にゆかりのある新作映画を市が全面的にバックアップし、地域振興へとつなげるのが、仙台○○○認定制度

前回のこたえ

A タ B ナ C バ D タ

でした。

1	フ	ナ		2	ヒ	マ	3	ワ	4	リ
	キ		5	タ	ケ	6	タ	ン		
7	ナ	イ	ン		8	ト	リ			
	ガ		9	オ	ウ	10	ヨ			
11	シ	12	サ	ク	13	ホ	14	テ	イ	
				15	ア	ク	ビ			
16	ア	リ	ー	ナ		17	キ	バ		

編集後記

仙台育英が夏の甲子園宮城県代表になりました。エースの渡辺都也君は、荒浜小卒業生、荒浜ビッグウェーブでも大活躍した選手です。若林を代表する渡辺選手に大きな声援を送りましょう。(きくち)

東北コットンプロジェクトの綿が製品になりました。エスパルで行われた販売イベントでハンドタオルを購入したのですが、肌触りがとてもよく、なんだかもったいなくて使えません。(佐藤)

●●● お住まいを移転される方へ ●●●

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越後もひき続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛 先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mwww.or.jp